【対応】

毎年の教員評価データも踏まえて、学部・研究科・センターの実績を、他学部･研究科･センターや過去と比較可能なかたちで取りまとめ、組織評価としている。問題点については、評価委員会で学長から指摘し、特に問題となるところは、学長と当該の学部長・研究科長・センター長が改善策について協議することになっている。平成 19 年組織評価（平成 18 年度年間活動及び平成 19 年 4 月 1 日データによる）では、センター評価が初年度の試行となっており、公表しない。しかし、学部・研究科評価は 3 年目で様式も整ってきており公表対象。ただ、協議対象事項となるような大きな問題点はなかった。